

平成24年度〔第2四半期〕随意契約の結果（500万円以上の工事、物品、委託）

琵琶湖環境部

(注)※1、※2の説明

表頭欄の「根拠法令」(※1)は、随意契約ができる場合について規定している地方自治法施行令第167条の2第1項の1号から9号のうち該当する号を記入し、2号の場合(性質又は目的が競争入札に適しないもの)については、「適用類型」(※2)に厳格な運用を図るために県が作成した7類型のうち該当するものを記入しています。

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令※1	適用類型※2
環境政策課	事業場環境管理台帳システム開発業務委託	事業場環境管理台帳システムの開発	平成24年9月28日	中電技術コンサルタント株式会社関西営業所	7,360,500	多岐に渡る法体系を十分に理解した上でのシステム開発が必要となるため、技術面においても優れた提案を行う業者を選定する必要があることから、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	2号	4
琵琶湖環境科学研究センター	有機物と放射性物質の詳細解析に向けた流域水循環モデル機能拡張業務委託	有機物と放射性物質の詳細解析に向けた流域水循環モデル機能拡張業務	平成24年7月30日	パシフィックコンサルタンツ株式会社滋賀事務所	14,868,000	本業務は過去に契約者に委託し、開発および改良したモデルについて、現行の機能をベースに一部改良するとともに、琵琶湖流域の放射性物質の動態予測ができるよう機能を拡張しようとするものである。本モデルの構築および再現性の検証には膨大な労力を必要とし、また学会等で信頼性にかかる客観的評価を得ていることから、新規に同等のモデルを構築することは不可能であり、本業務の遂行には本モデルをベースに、必要に応じて改良、拡張することが唯一の方法である。本モデルの改良、拡張にあたっては、モデルのソースコードに係る著作権は開発者である当該者が有しており、モデルのソースコードは公開されていないため、当該者以外が検証・改良することは不可能であり、代替性がない。	2号	3イ
琵琶湖博物館	展示交流空間再構築委託	新琵琶湖博物館創造にかかるビジョン策定およびその関連業務	平成24年9月18日	株式会社丹青社 関西支店	5,460,000	価格以外の要素を重視する必要があることから、プロポーザル方式により契約の相手方を選定したため。	2号	4

契約担当組織の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠法令※1	適用類型※2
琵琶湖政策課	ヨシ育成事業委託	ヨシ帯再生・維持管理、ボランティア活動育成、ヨシ生育状況調査	平成24年7月27日	公益財団法人淡海環境保全財団	10,080,000	当財団は、当事業を実施する上で必要な琵琶湖の周りでのヨシの生態や生育環境を熟知していること、特許を有する育苗方法によってヨシを生産していること、公益法人としてヨシ群落を造成していくうえで、市町、漁業組合等の関係機関との総合的な調整ができること、さらに水産資源保護の知識とそのため詳細な技術、ヨシ管理で特殊な火入れに必要な気象・技法などの経験的な知識、刈り取ったヨシの活用での腐葉土・紙などに加工するなど、ヨシの有用化の知識を持っており、当財団以外に業務の遂行に必要な経験やノウハウを有する者は他にいないため。	2号	3イ
琵琶湖政策課	ヨシ群落造成事業委託	施設設計、生物環境調査、協議会運営補助	平成24年9月24日	公益財団法人淡海環境保全財団	6,300,000	当財団は、当事業を実施する上で必要な琵琶湖の周りでのヨシの生態や生育環境を熟知していること、特許を有する育苗方法によってヨシを生産していること、公益法人としてヨシ群落を造成していくうえで、市町、漁業組合等の関係機関との総合的な調整ができること、さらに水産資源保護の知識とそのため詳細な技術、ヨシ管理で特殊な火入れに必要な気象・技法などの経験的な知識、刈り取ったヨシの活用での腐葉土・紙などに加工するなど、ヨシの有用化の知識を持っており、当財団以外に業務の遂行に必要な経験やノウハウを有する者は他にいないため。	2号	3イ
循環社会推進課	旧産業廃棄物最終処分場支障除去二次対策工設計業務委託	旧RD最終処分場における二次対策工事についての実設計業務	平成24年9月5日	株式会社建設技術研究所 滋賀事務所	118,650,000	平成22～24年度の調査を実施し、一次対策工の設計から二次対策工の合意形成過程に関わり、旧処分場の状況を熟知し、併せて産廃特措法関連の業務経験を持つものが他にいないため。	2号	3イ
循環社会推進課	旧産業廃棄物最終処分場一次対策現場管理業務委託	旧RD最終処分場一次対策工事の施工管理業務	平成24年9月20日	株式会社建設技術研究所 滋賀事務所	8,557,500	平成22～24年度の調査を実施し、一次対策工の設計から二次対策工の合意形成過程に関わり、旧処分場の状況を熟知し、併せて産廃特措法関連の業務経験を持つものが他にいないため。	2号	3イ
東北部流域下水道事務所	東北部浄化センター増設に係るJR周辺地盤等の観測調査業務委託	JR周辺地盤の観測調査業務	平成24年9月7日	公益財団法人鉄道総合技術研究所	26,145,000	JR軌道の盛土に関する専門的な土質工学および安全工学を有し、JR西日本との綿密な調整のもと業務を実施できるのは当該業者以外にいないため。	2号	3イ

契約担当組織 の名称	事業名	契約内容	契約締結日	契約の相手方	契約金額(円)	随意契約とした具体的理由	根拠 法令 ※1	適用 類型 ※2
森林政策課	森づくり交流会ふれあい フェスタ業務委託	「森づくり交流会ふれあい フェスタ」の企画・運営およ び「びわ湖水源のもりづく り月間」の周知	平成24年7月17日	株式会社読売連合広 告社大津支社	7,350,000	業者の広告・宣伝・啓発活動の企画力に重点を 置いて業者を選定する必要があり、低廉性から 判断する競争入札にはなじまないことから、プロ ポーザル方式により契約の相手方を選定したた め。	2号	4
森林保全課	緊急雇用創出特別推進 事業(林地保全調査事 業)委託	林地保全のための伐採手 法を検討するための現況 の基礎調査業務	平成24年8月24日	社団法人滋賀県造林 公社	41,895,000	本事業に係る調査は、特殊な技術や技能、実 績、経験を要し、他に代替しうる者がいないため。	2号	3イ